

9 教育長記者会見

教育に対する県民の関心の高まりに伴い、教育行政施策の普及推進のため、教育長と県政記者との会見を行った。

会 場 教育委員室、県政記者クラブ室、教育委員室

内 容 県民に広報を必要とする重要な施策及び行事等で、平成5年度に取り上げた主なものは次のとおりである。

9月14日（火） 平成5年度福島県文化功労賞受賞者・教育文化関係功労者の決定について

10月18日（月） 平成6年度福島県公立高等学校、盲学校・聾学校・養護学校高等部生徒募集定員について

6年

3月24日（火） 平成6年度福島県公立学校教職員・教育庁職員人事異動について

10 県政広報との連携並びに記者発表及び資料提供

広報を必要とする教育関係の情報・資料の提供について、広報広聴課の県政番組（印刷媒体・電話媒体）の随時活用を図った。更に、各報道機関（16社）に関しては、庁内各課の広報を要する事項について、県政記者クラブに対する記者発表及び資料提供を随時行い教育行政についての県民の理解と協力を得ることに努めた。月別の件数は次のとおりである。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
記者発表	2	1	4	2	1	2	3	1	3	2	5	6	32
記者クラブ資料提供	20	30	33	39	32	29	38	24	22	30	29	20	346

11 地区別教育広聴会

教育行政に対する広聴活動として昭和47年度から地区別教育広聴会を実施してきたが、平成5年度は次の3地区で開催した。

第1回 7月13日（火） 福島市

第2回 7月14日（水） 原町市

第3回 7月16日（金） 白河市

(1) 目的

県内各地の教職員、教育関係者及び地域住民等から、福島県の教育がかかえる諸課題等について意見を聴取し、本県教育行政の参考に資するとともに、より良い教育行政の発展に反映させる。

(2) テーマ

三地区共通

「これからの本県高等学校教育について
－高等学校教育の質的向上を目指して－」

(3) 意見発表者

三地区共通（8名）

父母（小学校・中学校・高等学校・盲聾養護学校）、地域産業経済関係者、学習塾関係者、文化活動関係者、社会

教育関係者、地域団体活動者

(4) 県教育委員会及び教育庁からの出席者

教育委員、教育長、教育次長、関係課長（総務・義務教育・高等学校教養・養護教育・生涯学習・保健体育・文化）、開催地区事務所長・次長、総務課主幹及び広報調査係員、行政係員、企画班員

(5) 教育広聴会の記録

内容については「教育福島」誌の9月号に掲載し、教育行政の推進に役立たせた。

12 教育関係広報・広聴活動研究協議会

(1) 目的

県及び市町村教育委員会、公立学校等の関係諸機関の担当者が、相互の連携を図りつつ広報・広聴についての認識を深め、方法を理解し、さらに技術を高めることによって広報・広聴活動の一層の充実を図り、以て本県教育の進展に資する。

(2) 期 日

平成5年7月22日（木）10:00～16:00

(3) 場 所

原町市「原町市福祉会館」

(4) 参加者

相双地区管内における市町村教育委員会、公民館、図書館、市町村立の県立学校等の広報担当者約50名程度

(5) 内 容

- ① 講演 福島民報社 渡辺智衛氏
- ② 講義 県広報協会「月刊ふくしま」主幹 三田英昭氏
- ③ 研究協議 3分科会

13 平成5年度北海道・東北ブロック支部省指示説明会（調査関係）及び調査統計・企画・広報担当者協議会

- (1) 主催 文部省、山形県教育委員会
- (2) 期 日 4月19日（月）～20日（火）
- (3) 場 所 山形県天童市「出羽路荘」

14 平成5年度教育関係情報交流研究協議会北海道・東北地区研究協議会

- (1) 主催 文部省、北海道教育委員会
- (2) 期 日 8月26日（木）～27日（金）
- (3) 場 所 札幌市「ホテルアカシア」
北海道「社会教育センター」

第6節 調査統計

平成5年度において実施した調査統計事業は、次のとおりである。